

令和2年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第3期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（平成29～令和3年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素としています。

■令和2年度の取組結果は以下のとおりです。

(単位：t co2)

	平成27年度 (基準年度)	①目標値 (削減△3%)	②令和2年度 (実績)	比較増減 (②-①)
二酸化炭素	2,851	2,765	3,033	268

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、電気、液化石油ガス、廃棄ゴミ類についての排出量が目標値に比べて増加しています。

(単位：t co2)

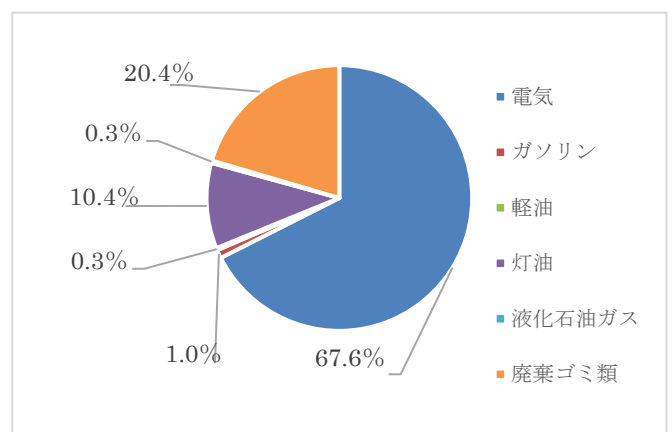
	平成27年度 (基準年度)	①目標値 (削減△3%)	②令和2年度 (実績)	比較増減 (②-①)
電気	1,853	1,797	2,049	252
ガソリン	40	39	31	△9
軽油	12	11	8	△3
灯油	333	323	316	△7
液化石油ガス	5	5	9	4
廃棄ゴミ類	608	590	620	30

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が67.6%、廃棄ゴミ類が20.4%と多くを占めています。

(単位：t co2)

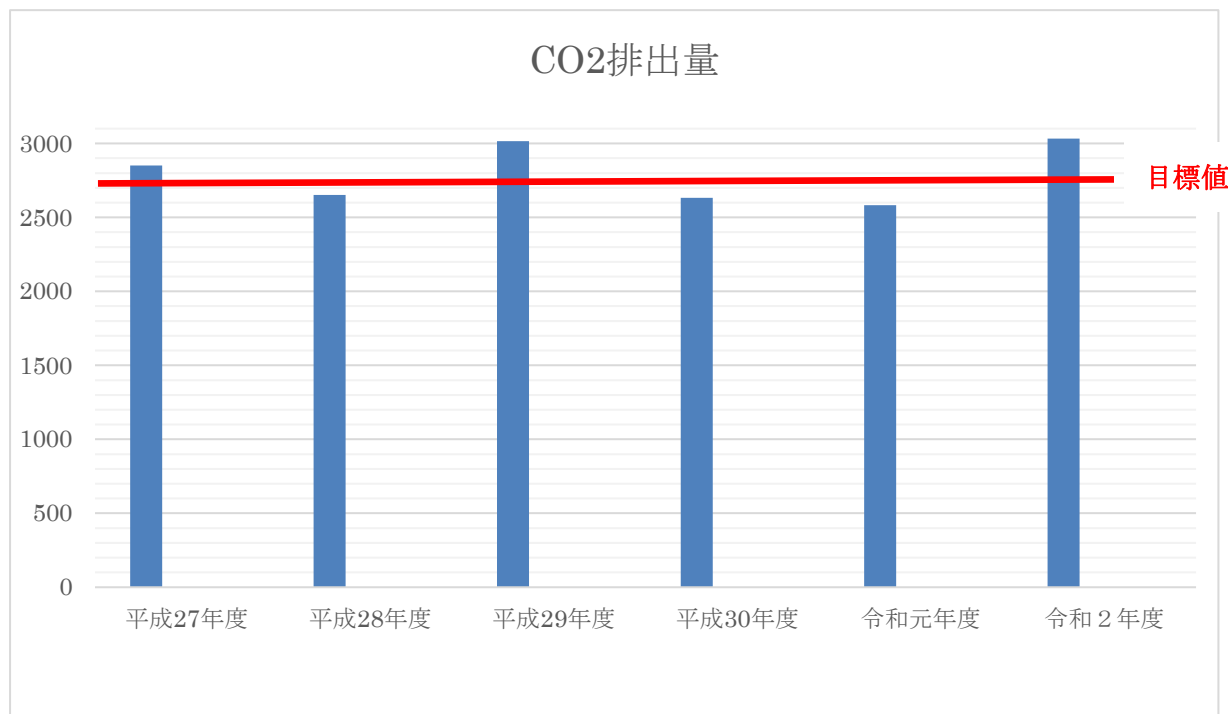
	令和2年度 (実績)	割合
電気	2,049	67.6%
ガソリン	31	1.0%
軽油	8	0.3%
灯油	316	10.4%
液化石油ガス	9	0.3%
廃棄ゴミ類	620	20.4%



3) 取り組みの推移

■令和2年度は基準年度と比較して6.4%の増加、目標値と比較して9.7%の増加となっています。

(単位：t co2)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は目標値に比べ増加しました。

要因としては、新型コロナウイルスという未知のウィルスの発生による緊急対応等が大きな要因と考えられます。

4. 今後の取り組み

新型コロナウイルスが全国的に流行し、医療現場等で厳しい現状が続いておりますが、地球温暖化対策への意識を忘れず、光熱費等の削減に取り組んでいきます。